



2019年11月号



最近の県内経済は、緩やかな回復基調にある。

<p>個人消費</p>	<p>個人消費は、回復基調を維持。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比 6.6%増と2カ月連続のプラス。百貨店が同 18.5%増、スーパーが同 4.0%増となった。 ・9月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比 0.3%減となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同 59.2%増、ドラッグストアが同 18.2%増、ホームセンターが同 17.4%増となった。 ・9月の乗用車販売は、登録車では普通乗用車が前年同月比 28.5%増と6カ月連続のプラス、小型乗用車は同 9.4%増と再びプラスに転じた。届出車の内、乗用車は同 3.6%増と2カ月連続のプラスとなった。この結果、乗用車の合計販売台数は同 11.9%増の 4,618 台と3カ月連続のプラスとなった。
<p>住宅投資</p>	<p>住宅投資は、減少。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 6.7%減と再びマイナスとなった。持家が同 11.7%減、貸家が同 5.8%減、分譲住宅が同 24.5%増となった。
<p>公共投資</p>	<p>公共投資は、増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の公共工事請負額は、全体で前年同月比 5.2%増の 212 億 9,300 万円となり、再びプラス。国(含む独立行政法人等)が同 162.2%増、県が同 13.0%増、市町村が同 36.4%減となった。
<p>一次産業</p>	<p>〔農業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の 2019 年水稻の県平均作柄(10月 15 日現在)は、作況指数が青森地帯、津軽地帯、南部・下北地帯の全てで「106」、県全体でも「106」と見込まれている。 ・2019 年県産リンゴ販売は、9月の県外出荷量が前年同月比 1.1%増、消費地市場価格は同 6.5%低下し、県外市場販売額は同 6.4%減となった。 <p>〔漁業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 25.4%減、金額が同 12.7%増となった。
<p>生産活動</p>	<p>生産活動は、足元低下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比 5.4%低下の 106.1 となり、2カ月ぶりに低下した。食料品、電気機械、電子部品・デバイスなどが低下した。 ・原指数では、電気機械、業務用機械、パルプ・紙などが低下し、前年同月比 4.9%低下の 100.0 と2カ月ぶりに前年同月を下回った。
<p>設備投資</p>	<p>設備投資は、足元低下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比 54.7%減の 2 万 7,087 ㎡と大幅に減少し、2カ月連続で前年同月を下回った。
<p>雇用動向</p>	<p>雇用動向は、改善している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の有効求人倍率は、1.22 倍となった。前月比 0.02 ポイント上昇し、依然として高水準が継続している。

一次産業

米

2019年産米、作況指数は「106」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の2019年産水稻の県平均作柄(10月15日現在)は、10a当たりの予想収量が627kg、作況指数は「106」と見込まれており、予想収量は東北平均を上回り、作況指数も東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「多い」、1穂当たりのもみ数は「やや少ない」、全もみ数は「やや多い」、登熟は「やや良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は青森地帯が「平年並み」、津軽地帯、南部・下北地帯が「やや良」と見込まれている。10a当たりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は611kgの「106」、津軽地帯が649kgの「106」、南部・下北地帯が584kgの「106」と見込まれている。

2019年産水稻の作柄概況(10月15日現在)

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の 多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	627	575	106	多い	やや少ない	やや多い	やや良
青森地帯	611	560	106	多い	平年並み	多い	平年並み
津軽地帯	649	595	106	多い	やや少ない	やや多い	やや良
南部・下北地帯	584	536	106	多い	やや少ない	やや多い	やや良
東北平均	586	547	104	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み

資料出所:東北農政局

りんご

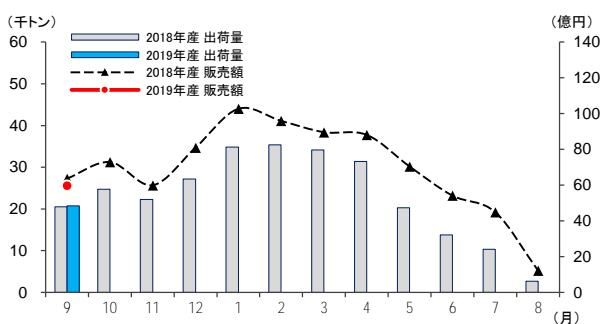
2019年産、県外市場販売額、前年比6.4%減

2019年県産りんご販売、9月の県外出荷量は前年同月比1.1%増の2万734トンとなった。これは平年の9月出荷量を7.6%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比6.5%低下、平年比較で9.1%上昇の289円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比6.4%減、平年比較では2.6%減の59億6,100万円となった。

2019年産県産りんごの消費地市場価格は、生育の遅れや台風等の影響により、果実全体の入荷量が少なく高値基調で推移している中で、本県産りんごは入荷量が前年並みだったものの、平年より大幅に少なかったことから、前年より安値だったものの、平年に比べると高値となった。

(注)平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

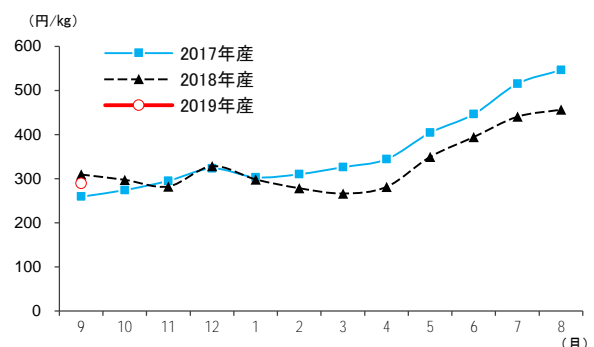
● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所:県りんご果樹課

(注)出荷量:生食用(県外市場、輸出、小口他)
販売額:小口、加工向けを除く販売額

● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所:県りんご果樹課

一次産業

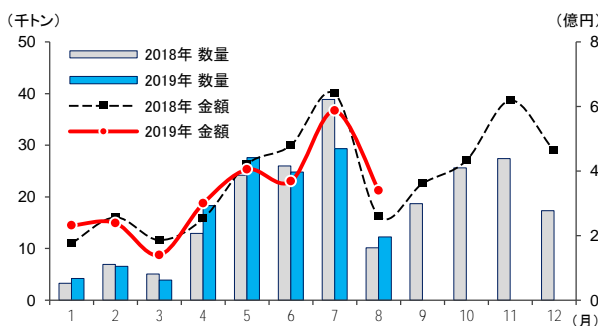
海面漁業

漁獲数量、金額ともにプラス

8月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比21.0%増の1万2,271トン、漁獲金額は同30.1%増の33億9,444万円となった。前年同月に比べ、マイワシ、サバ、アカイカ（近海）等が減少したものの、ホタテガイ（新貝/成貝）、スルメイカ（近海・生）等が増加したことなどが影響した。

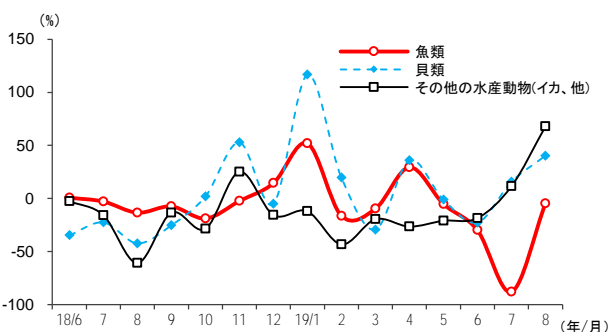
魚種別にみると、「魚類」は、マイワシ、サバ等の水揚げが減少し、数量が前年同月比50.6%減の2,598トン、金額は同4.7%減の8億9,321万円となった。「貝類」は、ホタテガイ（新貝/成貝）等の水揚げが増加し、数量が同128.6%増の6,116トン、金額は同40.3%増の8億976万円となった。「その他の水産動物」は、アカイカ（近海）等の水揚げが減少したものの、スルメイカ（近海・生）等の水揚げが増加し、数量が同74.0%増の3,294トン、金額は同67.9%増の15億6,455万円となった。

● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所:青森県農林水産部

● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所:青森県農林水産部

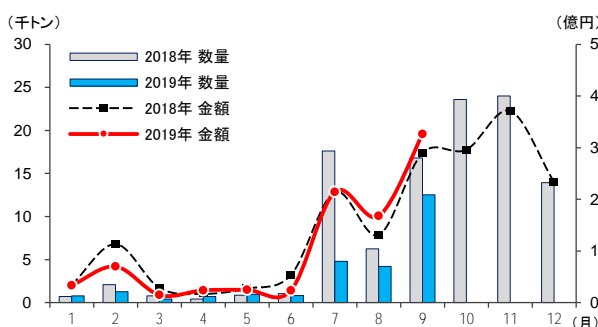
八戸港水揚げ

漁獲数量マイナス、金額はプラス

9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比25.4%減の1万2,528トン、金額は同12.7%増の32億6,621万円となった。

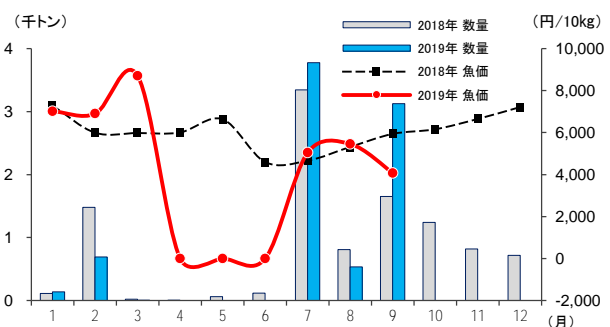
イカ釣り漁は、近海スルメイカが持ち直したほか、船凍アカイカが好調であったことなどから、数量が同89.1%増の3,128トン、金額は同29.9%増の12億7,419万円となった。大型まき網漁は、サバやイワシが不漁だったものの、単価の高いスルメイカが好調であったことなどから、数量が同42.7%減の7,098トン、金額は同1.0%減の6億8,392万円となった。機船底引き網漁は、主体となる中型船の漁獲数量が減少したものの、スルメイカの魚価高により、数量が前年同月比20.2%減の1,793トン、金額は同5.4%増の11億1,260万円となった。

● 八戸港水揚げ高



資料出所:八戸市水産事務所

● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所:八戸市水産事務所

二次産業

鉱工業生産

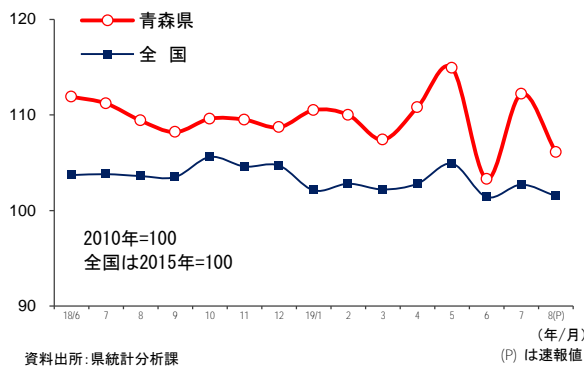
食料品、電子部品・デバイスなど低下し、2カ月ぶりに低下

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比5.4%低下の106.1となり、2カ月ぶりに低下した。

主要6業種では、ウエートの大きい食料品が前月比1.2%低下したほか、電気機械が同2.5%、電子部品・デバイスが同2.2%、パルプ・紙が同0.9%などと低下した。一方、鉄鋼は同10.7%、業務用機械は同4.3%上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、ウエートの大きい食料品が同2.3%、鉄鋼が同4.2%、電子部品・デバイスが同0.8%上昇したものの、電気機械が同31.4%、業務用機械が同8.9%、パルプ・紙が同7.0%などと低下し、全体では同4.9%低下の100.0と2カ月ぶりに前年同月を下回った。

● 鉱工業生産指数



● 業種別生産指数 (2019年8月)

業種 ()内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	2019年 =100	前月比 (%)	2019年 =100	前年同 月比 (%)
鉱工業 (10,000.0)	106.1	△ 5.4	100.0	△ 4.9
食料品 (2,410.0)	105.0	△ 1.2	98.5	2.3
鉄鋼 (1,200.9)	115.2	10.7	110.2	4.2
電子部品・デバイス (1,048.2)	160.2	△ 2.2	155.7	0.8
業務用機械 (1,005.1)	106.9	4.3	89.3	△ 8.9
パルプ・紙 (722.3)	81.4	△ 0.9	87.0	△ 7.0
電気機械 (429.2)	82.7	△ 2.5	85.7	△ 31.4

資料出所: 県統計分析課

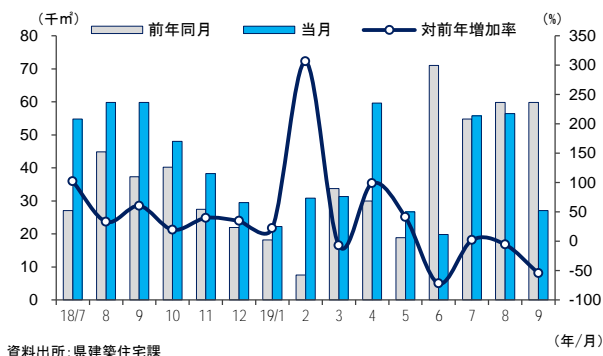
設備投資

建築物着工床面積(民間非居住用)、2カ月連続のマイナス

9月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比54.7%減の2万7,087㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。

用途別着工床面積をみると、製造業、鉱業、建設業用が前年同月比85.4%減の3,826㎡、医療、福祉用が同94.1%減の473㎡、教育、学習支援業用が同79.4%減の1,550㎡、その他のサービス業用計が同66.0%減の2,689㎡などとなった。一方、卸・小売業用が同977.3%増の8,780㎡、農林水産業用が同55.2%増の9,722㎡などとなった。

● 建築物着工床面積(民間非居住用)



● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2019年9月 (㎡)	2018年9月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	9,722	6,265	55.2
製造業、鉱業、建設業用	3,826	26,158	△ 85.4
卸・小売業用	8,780	815	977.3
運輸・通信用	0	360	△ 100.0
教育、学習支援業用	1,550	7,519	△ 79.4
医療、福祉用	473	7,955	△ 94.1
その他のサービス業用計	2,689	7,901	△ 66.0
他に分類されない建築物	47	2,822	△ 98.3
合計	27,087	59,795	△ 54.7

資料出所: 県建築住宅課

二次産業

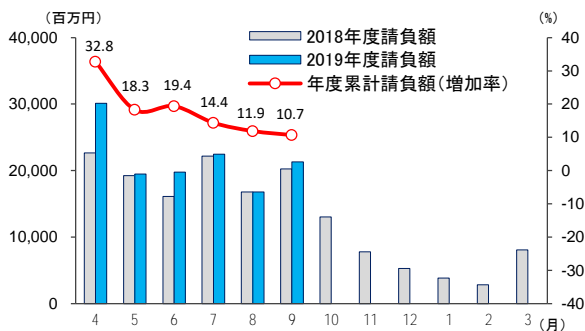
公共工事

市町村などが減少するも国・県が増加し、再びプラス

9月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比5.2%増の212億9,300万円となり、再びプラスとなった。

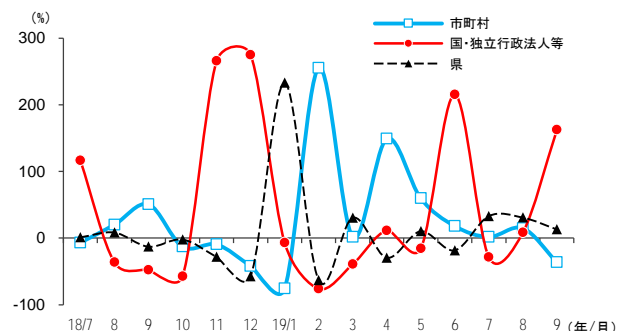
発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)は、国土交通省などが増加し、同162.2%増の40億9,100万円となった。県は県土整備部や農林水産部などが増加し、同13.0%増の120億4,500万円となった。市町村は、南部町や青森市などで増加したものの、八戸市や三沢市などで減少し、同36.4%減の47億4,400万円となった。

● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増減率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

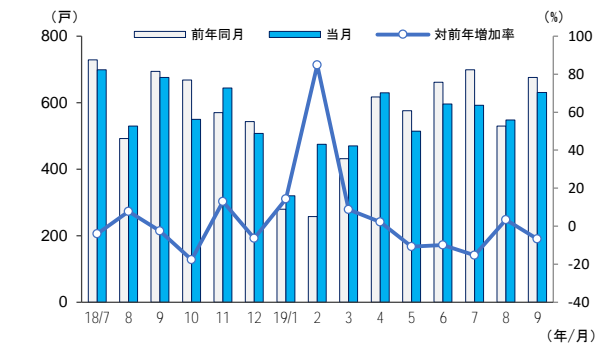
住宅着工

新設住宅着工戸数、再びマイナス

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比6.7%減の631戸となり、再びマイナスとなった。利用関係別では、持家が同11.7%減、貸家が同5.8%減、分譲住宅が同24.5%増となった。

地域別にみると、全体では青森市や藤崎町などで増加したものの、八戸市や弘前市、六戸町などで減少した。持家は、つがる市や五所川原市などで増加したものの、青森市や八戸市などで減少した。貸家は、青森市や藤崎町などで増加したものの、八戸市や三沢市などで減少した。分譲住宅は、弘前市や六戸町などで減少したものの、青森市や八戸市などで増加した。

● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

● 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	2019年 9月	2018年 9月	前年 同月比
持家	341	386	△ 11.7
貸家	226	240	△ 5.8
給与住宅	3	1	200.0
分譲住宅	61	49	24.5
総戸数	631	676	△ 6.7

資料出所: 県建築住宅課

三次産業

百貨店・スーパー販売

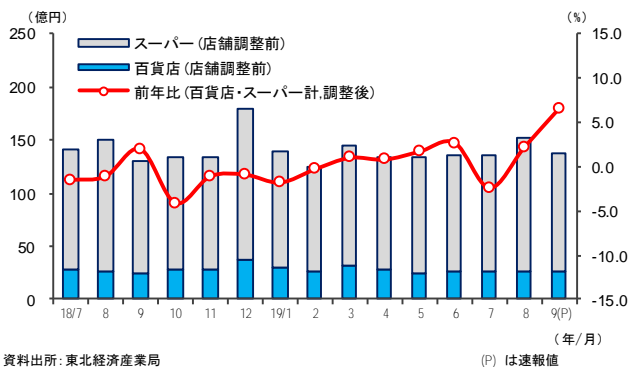
百貨店、スーパーともに前年比プラスを継続

9月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、消費増税を前にした購入などを背景に、前年同月比**6.6%増**と2カ月連続でプラスとなった。

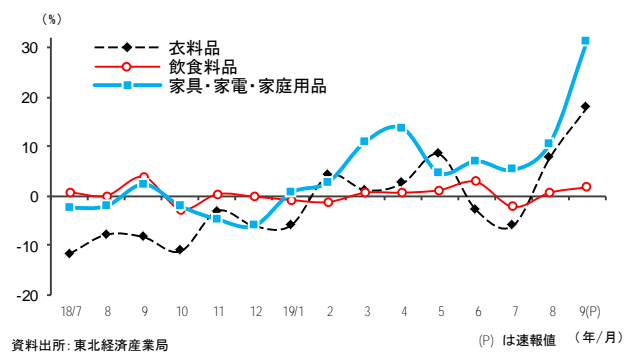
業態別では、百貨店が前年同月比**18.5%増**、スーパーは同**4.0%増**と、ともにプラスを継続している。なお、百貨店の全店ベース売上高でも同**8.0%増**となった。

品目別では、ボリュームの大きい飲食料品は百貨店が同**7.6%増**、スーパーが同**1.1%増**と、ともにプラスとなり百貨店・スーパー販売額全体を牽引する形となった。衣料品は、気温高が続く中で夏の夏物クリアランスセールが奏功したことなどから百貨店が同**23.7%増**、スーパーが同**9.9%増**と好調な動きとなった。家具・家電・家庭用品はエアコン、大型テレビの買替需要が旺盛だったことから、両業態合計で同**31.3%増**となった。

百貨店・スーパー販売動向



品目別売上高(既存店、増加率)



各種小売業態販売額

コンビニ以外、3業態でプラス継続

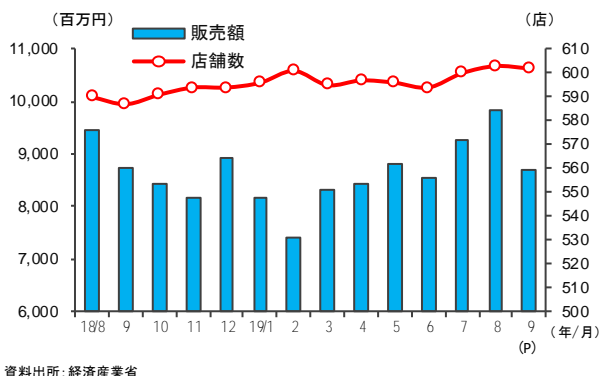
9月の各種小売業販売額は、コンビニエンスストアで前年を幾分下回ったものの、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターでは、前年を大幅に上回った。

コンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比**0.3%減**の87億1,500万円と11カ月ぶりの前年割れとなった。

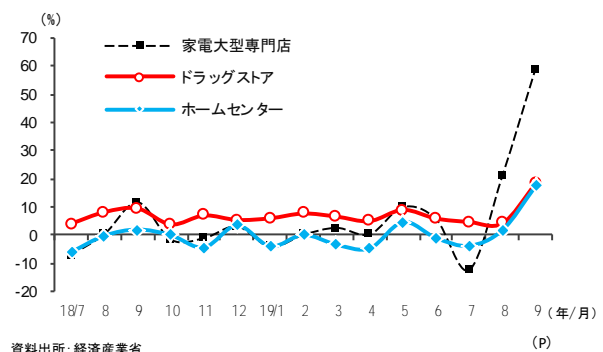
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)では、家電大型専門店が、気温高や消費増税前購入により新型エアコンや4Kテレビを中心に動きが活発で同**59.2%増**と大きく伸ばした。また、ドラッグストアは食料品需要等を他業態から取込む流れが持続しており同**18.2%増**とプラス基調が継続している。ホームセンターはインテリア品、アウトドア用品の復調から同**17.4%増**と、2カ月連続で水面上の動きとなった。

(注) 本項はすべて速報値である。

コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



三次産業

自動車販売

乗用車販売台数、3カ月連続のプラス

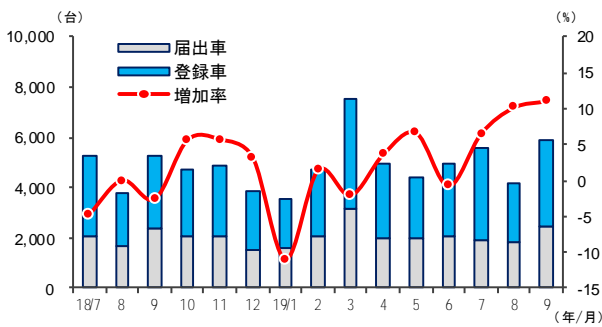
9月の自動車販売台数は、登録車が前年同月比16.5%増と3カ月連続のプラス、届出車(軽自動車)が同4.4%増と2カ月連続でプラスとなった。この結果、新車販売合計は同11.0%増の5,865台と、3カ月連続で前年同月を上回った。

内訳別では、登録車は普通乗用車で新車効果が持続し前年同月比28.5%増と6カ月連続のプラス、小型乗用車も同9.4%増とプラスに転じた。また、届出乗用は同3.6%増と2カ月連続でプラスとなった。この結果、乗用車の登録・届出車合計販売台数は同11.9%増の4,618台と3カ月連続のプラスとなった。

なお、登録貨物車は同5.5%増と5カ月連続のプラス、届出貨物車は同7.1%増と2カ月ぶりにプラスに転じた。

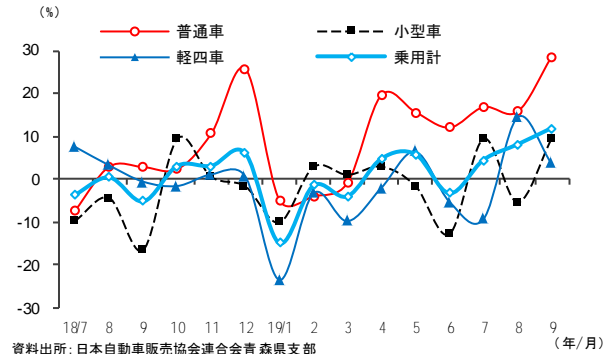
総じて、自動車販売は新車効果や消費増税前の駆け込み購入を背景に堅調に推移した。

自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

観光動向

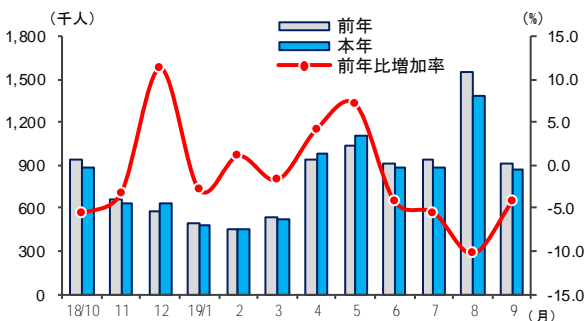
観光施設入込数、宿泊者数ともに前年割れ継続

9月の県内観光動向は、観光施設入込数が4カ月連続のマイナス、宿泊者数が2カ月連続のマイナスとなった。

県内観光施設35カ所の入込数は、前年同月比4.3%減の86万8,060人と、4カ月連続で前年割れとなった。施設別では、アスパム(前年同月比5.9%増)、青森県立美術館(同2.5%増)、八甲田丸(同6.8%増)等でプラスとなった一方、集客ボリュームの大きい八食センター(同3.5%減)、弘前市立観光館(同6.2%減)等での減少が全体を押し下げる結果となった。

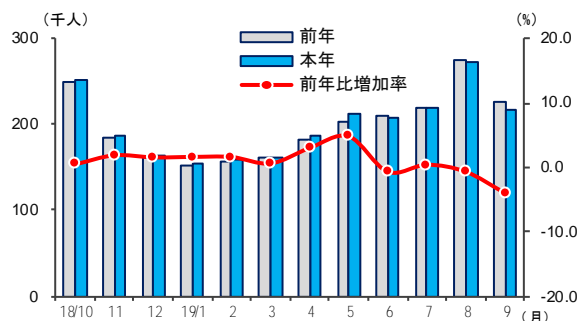
また、県内78施設の宿泊者数は、前年同月比4.0%減の21万7,405人と2カ月連続でマイナスとなった。地域別では、弘前市内(17施設)が同4.1%増の4万9,912人と唯一プラスとなったものの、他地域は前年割れとなり、青森市内(12施設)が同5.7%減の3万2,971人、八戸市内(18施設)が同3.0%減の4万2,424人、下北地域(むつ市含む12施設)が同8.0%減の2万2,772人、西北地域(10施設)が同8.4%減の2万5,794人、上北地域(9施設)が同6.9%減の4万3,532人であった。

県内35施設入込数(12月までは34施設)



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

県内78施設宿泊者数(12月までは79施設)



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

物価・雇用・金融

消費者物価指数

前月比横ばい、食料等上昇、灯油等低下

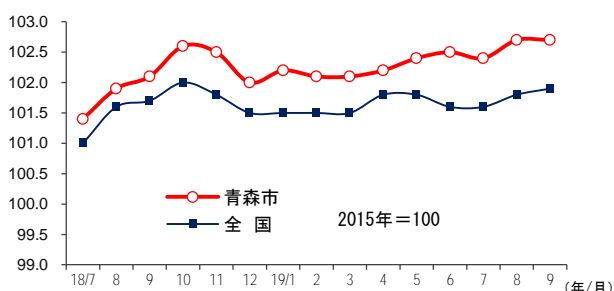
9月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は、前月比横ばい、前年同月比0.6%上昇の102.7となった。

主要費目別に前月と比べると、ウエートの大きい「食料」が生鮮魚介などの値上がりにより1.1%、「被服及び履物」がシャツ・セーター類などの値上がりにより3.9%上昇した。

一方、「光熱・水道」は灯油代の値下がりなどにより1.8%、「教養娯楽」は教養娯楽サービスなどの値下がりなどにより1.2%、「交通・通信」は航空運賃などの値下がりにより0.6%、「家具・家事用品」は室内装備品などの値下がりにより0.3%、「保健医療」は保健医療用品・器具などの値下がりにより0.3%低下した。

生鮮食品を除く総合指数は、前月比0.3%低下、前年同月比0.4%上昇の102.7となった。

● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

● 費目別指数の動き(2019年9月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	102.7	0.0	0.6
生鮮食品を除く総合指数	102.7	△ 0.3	0.4
食料	106.0	1.1	1.6
住居	100.5	0.0	0.6
光熱・水道	103.0	△ 1.8	△ 0.5
家具・家事用品	101.9	△ 0.3	3.3
被服及び履物	106.2	3.9	4.3
保健医療	102.1	△ 0.3	△ 1.2
交通・通信	98.2	△ 0.6	△ 1.2
教育	102.9	0.0	0.2
教養娯楽	103.2	△ 1.2	△ 0.1
諸雑費	103.2	△ 0.2	1.1

資料出所: 県統計分析課

雇用動向

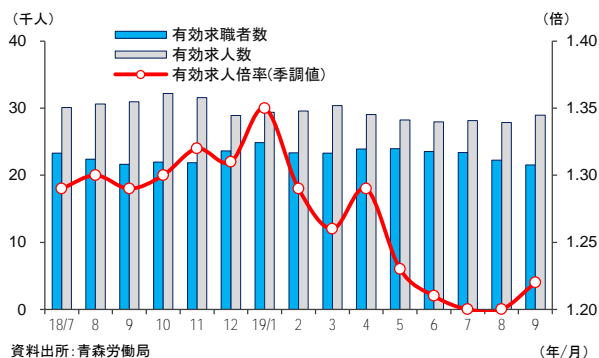
有効求人倍率 1.22 倍、前月比 0.02 ポイント上昇

9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比6.4%減の2万8,986人、有効求職者数は同0.3%減の2万1,555人となった。有効求人倍率(季節調整値)は1.22倍となり前月比0.02ポイント上昇した。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比9.4%減、臨時・季節求人数が同0.9%減、パート求人数が同7.3%減となり、全数では同7.9%減の1万597人となった。新規求人倍率(季節調整値)は1.68倍となり前月を0.02ポイント下回った。

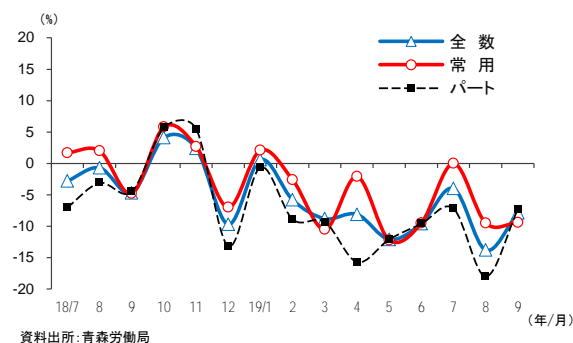
主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、建設業、製造業、情報通信業、運輸業、郵便業、小売業、不動産業、物品賃貸業、飲食サービス業、教育、学習支援業、医療、福祉など幅広い業種で減少した。一方、金融業、保険業、宿泊業、生活関連サービス業、娯楽業では増加がみられた。

● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

物価・雇用・金融

企業倒産

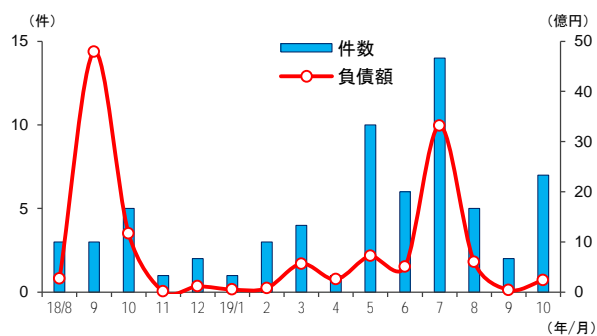
倒産件数前年比プラス、負債総額同マイナス

10月の県内企業倒産は、件数が7件、負債総額が2億3,800万円となり、前年同月比で件数が2件(40.0%)増、負債総額が9億2,900万円(79.6%)減だった。前月比では件数が5件(250.0%)増、負債総額が1億9,500万円(453.5%)増となった。件数は、3カ月連続で一桁台となり、負債総額は、負債額が1億円以上の倒産が1件のみに留まったことから前年を大幅に下回った。

地区別では、青森市で5件、八戸市、むつ市で各1件の発生だった。業種は小売業が3件、サービス業他が2件、製造業と情報通信業が各1件ずつだった。原因は販売不振が5件、過小資本が2件だった。

なお10月の従業員被害者数は12人となり、1月からの累計では219人となった。

● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

● 業種別・原因別件数 (2019年10月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	0	放漫経営	0
建設業	0	過小資本	2
製造業	1	他社倒産の余波	0
卸売業	0	既往のシワ寄せ	0
小売業	3	信用低下	0
金融・保険業	0	販売不振	5
不動産業	0	売掛金回収難	0
運輸業	0	在庫状況悪化	0
情報通信業	1	設備投資過大	0
サービス業 他	2	その他	0
合計	7	合計	7

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

金融動向

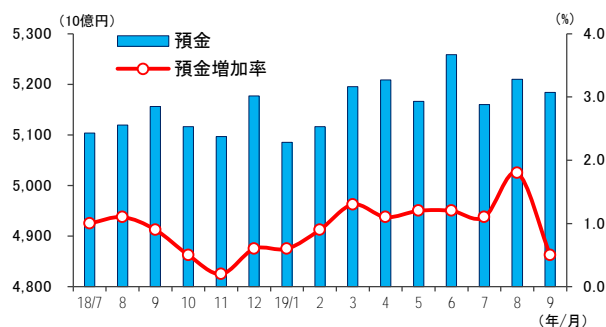
預金 77 カ月連続プラス、貸出金 4 カ月連続マイナス

9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比0.5%増の5兆1,840億円、貸出金は同0.9%減の3兆619億円となった。

預金は、個人預金の増加により前年を上回り、77カ月連続のプラスとなった。預金全体のプラス幅は前月比1.3ポイント減少した。

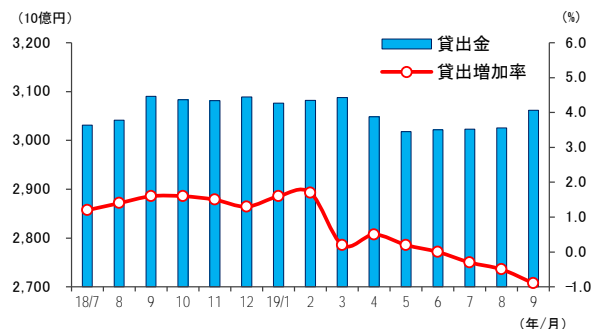
貸出金は、概ね横ばいながら前年を幾分下回り、4カ月連続のマイナスとなった。貸出金全体のマイナス幅は前月比0.4ポイント増加した。

● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

● 貸出金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

国内景気

概況

—国内景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。—
個人消費は持ち直している。設備投資は機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。住宅建設はこのところ弱含んでいる。公共投資は底堅さが増している。輸出は弱含んでいる。輸入は概ね横ばい。貿易・サービス収支は、おおむね均衡。生産はこのところ弱含み。企業収益は高い水準で底堅く推移。企業の業況判断は製造業を中心に引き続き慎重さが増加。倒産件数は概ね横ばい。雇用情勢は着実に改善。国内企業物価は緩やかに下落。消費者物価はこのところ上昇テンポが鈍化している。

百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 10.0%増と 2 桁増加—
9月の百貨店・スーパー販売額は1兆6,717億円(速報)となり、既存店ベースでは前年同月比 10.0%増となった。業態別にみると、百貨店が同 22.8%増、スーパーが同 4.4%増となった。商品別にみると、衣料品が同 19.5%増、飲食料品が同 0.7%増、その他商品が同 29.4%増となった。

住宅建設

—前年同月比 4.9%減、3 カ月連続で減少—
9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 4.9%減の 7 万 7,915 戸と 3 カ月連続で減少した。利用関係別では、持家が同 3.5%減と 2 カ月連続の減少、貸家が同 16.8%減と 13 カ月連続の減少、分譲住宅が同 14.1%増と 4 カ月連続の増加となった。

企業倒産

—9月の負債総額、30年間で3番目の低水準—
9月の企業倒産は、件数が前年同月比 13.0%増の 702 件、負債総額は同 38.7%減の 1,129 億 8,500 万円となった。倒産件数は 2 カ月ぶりに前年同月を上回り 700 件台となったものの、9月では 90 年以降の 30 年間で 6 番目に少ない件数だった。負債総額は 4 カ月連続で前年同月を下回り、90 年以降の 30 年間では 3 番目の低水準。負債 100 億円以上の大型倒産が 1 件発生したものの、前年同月に 1,000 億円超の規模倒産が発生した反動で大幅減少。一方、1 億円未満の小口倒産は 7 割以上を占めた。

為替動向

—10月末終値 108 円 60 銭—
10月の東京外国為替市場は、前月末比 0.49 円安の 108.34 円でスタート。上旬は米景気に対する先行き不安から円を買う動きが優勢となり、106 円台まで円高が進行。中旬は、米中貿易協議への合意期待から 108 円台まで円安が進行。下旬も 108 円台後半の狭いレンジでの動きとなった。月末終値は 108.60 円。

鉱工業生産指数

—2 カ月ぶりに上昇、前月比 1.4%上昇—
9月の鉱工業生産指数は前月比 1.4%上昇の 102.9(速報、季節調整値)と 2 カ月ぶりの上昇となった。原指数は前年同月比 1.1%上昇の 104.9 となった。前月比では、はん用・業務用機械、生産用機械、電気・情報通信機械などが上昇し、一方、化学(除、無機・有機化学・医薬品)、自動車、電子部品・デバイスなどは低下した。
なお 10 月は生産用機械、電気・情報通信機械などの上昇により前月比 0.6%の上昇を予測している。

新車販売(除く軽自動車)

—3 カ月連続で増加、前年同月比 2.0%増—
9月の国内新車販売は前年同月比 2.0%増の 30 万 280 台と 3 カ月連続で増加した。乗用車が同 2.0%増、貨物車が同 7.7%増となった。乗用車は普通乗用車が同 5.3%増と 6 カ月連続の増加、小型乗用車は同 1.9%減と 10 カ月連続の減少となった。

完全失業率

—完全失業者数、4 カ月ぶりの増加—
9月の完全失業率(季節調整値)は、前月比 0.2 ポイント上昇の 2.4%となった。完全失業者数は前年同月比 6 万人増の 168 万人となり、4 カ月ぶりに増加した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比横ばいの 21 万人、自己都合が同 2 万人減の 73 万人などとなった。

消費者物価指数

—前年同月比 0.2%上昇の 101.9—
9月の消費者物価指数は総合指数が前年同月比 0.2%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの 101.9 となった。前年同月に比べ、アイスクリーム、焼き肉(外食)、生鮮果物、塀工事費、電気掃除機、宿泊料、新聞代などが上昇し、生鮮野菜、ガソリン、携帯電話通信料などは下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比 0.3%上昇、前月比(季節調整値)0.1%低下の 101.6 となった。

国際収支

—経常収支、前年同月比 12.5%減—
9月の経常収支額は前年同月比 12.5%減の 1 兆 6,129 億円となった。貿易収支が黒字幅を縮小したこと等から、黒字幅を縮小した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が 412 億円の黒字、第一次所得収支が 1 兆 8,054 億円の黒字、第二次所得収支が 2,337 億円の赤字となった。

県内

- 9/29 八戸市長根屋内スケート場「YS アリーナ八戸」オープン**
国際大会を開催できる国内3カ所目の屋内スケート場として、八戸市長根屋内スケート場「YS アリーナ八戸」がオープンした。同アリーナでは、本年10月25日～27日に全日本スピードスケート距離別選手権大会が開催される。
- 9/30 「森林環境譲与税」、初回の配分額決定**
総務省によると、森林整備の財源となる「森林環境譲与税」の本県への初回配分額(9月期)は1億6,685万4千円となった。同譲与税は年2回に分けて配分され、来年3月にもほぼ同額が配分される。
- 10/7 高校卒業予定者の県内求人倍率、過去最高を更新**
青森労働局の発表によると、来年3月卒業予定の高校生に対する県内求人倍率(8月末時点)が2.25倍となり、この時期としては統計が残る1994年以降で過去最高だった前年を0.05ポイント上回った。
- 10/18 弘前「ご当地ナンバー」の図柄決定**
国土交通省によると、図柄入り自動車用ナンバープレート(ご当地ナンバー)の第2弾となる図柄が決定した。本県初の「ご当地ナンバー」となる弘前ナンバーの図柄は、弘前城と桜色のお堀、岩木山が描かれており、来年5月頃からの交付が予定されている。
- 10/23 大韓航空、青森—ソウル便「週5往復」今冬は見送り**
大韓航空の青森—ソウル便は、これまで2年連続で冬季には週5往復で運航していたが、今冬は夏季ダイヤと同様の週3往復体制を維持する。

国内

- 9/30 8月の鉱工業生産「弱含み」と下方修正**
経済産業省が発表した8月の鉱工業生産指数は101.5(2015年=100、季節調整済)と、前月比1.2%低下した。業種別では、全15業種中12業種で前月比低下となった。この結果、基調判断は「生産はこのところ弱含んでいる」と下方修正した。
- 10/1 消費税10%スタート**
消費税率が8%から10%へ引き上げられた。同税率の引き上げは2014年4月以来、5年半ぶりとなる。日用品や公共料金など幅広い商品・サービスが対象となる一方、軽減税率制度が国内では初めて導入される。
- 10/2 9月の消費者態度指数、過去最低水準**
内閣府が発表した9月の消費動向調査によると、消費者マインドの強さを表す消費者態度指数(季節調整値)は、前月比1.5ポイント低下の35.6となった。同指数の低下は12カ月連続で、比較可能な2013年4月以降で最低水準に落ち込んだ。また、同指数を構成する「暮らし向き」「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」の全てで前月比低下した。
- 10/7 景気動向指数、基調判断「悪化」へ**
内閣府が発表した8月の景気動向指数(2015年=100)によると、景気の現状を示す一致指数が前月比0.4ポイント低下し99.3となった。この結果、同指数の変化から機械的に決定される景気の基調判断は4カ月ぶりに「悪化」と下方修正された。
- 10/8 9月の街角景気、2カ月連続で改善**
内閣府が発表した9月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現状を示す現状判断指数(季節調整値)は前月から3.9ポイント改善し46.7となり、2カ月連続で改善した。
- 10/17 9月の韓国人訪日客58%減少**
日本政府観光局によると、9月の訪日外客数は、災害があった前年を5.2%上回る227万2,900人となった。一方、国・地域別では、韓国が前年同月比58.1%減少となった。
- 10/18 10月の月例経済報告、総括判断維持**
政府が公表した10月の月例経済報告で、景気の全体像を示す総括判断を「緩やかに回復している」と据え置いた。

全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券発行高 (平均残高) (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	景気動向 指数(一致) 2015年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2015年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2014 (H26)	930,818	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	101.2	96,920	165,257
2015 (H27)	984,300	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	100.0	100,891	149,257
2016 (H28)	1,024,612	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	100.0	102,600	154,200
2017 (H29)	1,067,165	763,244	505,238	0.946	-	98.7	100.4	103.1	101,431	157,209
2018 (H30)	1,103,625	779,084	515,480	0.901	-	101.3	101.3	104.1	105,091	144,020
2018 (H30) 7	1,044,800	773,451	509,569	0.918	103.0	101.8	101.0	103.8	9,128	12,098
8	1,046,482	772,577	508,515	0.917	103.0	101.8	101.6	103.6	9,754	12,715
9	1,045,699	776,734	512,171	0.912	102.0	102.0	101.7	103.5	8,100	15,216
10	1,047,072	774,577	509,514	0.912	104.0	102.4	102.0	105.6	8,720	13,066
11	1,050,606	779,129	511,618	0.909	102.3	102.1	101.8	104.6	8,714	10,238
12	1,077,249	779,084	515,480	0.901	101.3	101.4	101.5	104.7	8,692	10,737
2019 (H31) 1	1,079,375	776,081	512,080	0.900	100.4	100.8	101.5	102.1	8,223	10,843
2	1,066,271	776,595	512,069	0.898	101.4	101.2	101.5	102.8	8,367	10,291
3	1,072,160	792,224	518,432	0.891	101.0	101.5	101.5	102.2	8,688	23,228
4	1,087,111	793,654	518,441	0.888	101.6	101.9	101.8	102.8	9,137	8,921
(R1) 5	1,087,770	793,065	516,238	0.886	102.4	101.8	101.8	104.9	8,429	9,303
6	1,069,431	790,515	518,180	0.882	99.5	101.2	101.6	101.4	9,603	15,452
7	1,074,323	790,157	517,408	0.879	99.7	101.2	101.6	102.7	8,969	15,257
8	1,074,413	789,234	517,578	0.877	99.0	100.9	101.8	101.5	8,753	13,255
9	1,071,112				P 101.0	100.9	101.9	P 102.9	8,502	16,653
前月比 %	-0.3	-0.1	0.0	-0.002 ｷﾝﾄ	2.0 ｷﾝﾄ	0.0	0.0	1.4	-2.9	25.6
前年同月比%	2.4	2.2	1.8	-0.040 ｷﾝﾄ	-	-1.1	0.2	1.1	5.1	9.4
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※日銀券発行高の年次は年末残高の数値

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・ スーパー 販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月中平均) (円/US\$)	日経 平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) 1970年=100
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2014 (H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015 (H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	165,194	121.09	19,033.71	160.852
2016 (H28)	967,237	4,146	195,979	8,446	20,061	3.1	213,910	108.77	19,114.37	168.833
2017 (H29)	964,641	4,386	196,025	8,405	31,676	2.8	226,067	112.13	22,764.94	184.488
2018 (H30)	942,370	4,391	195,998	8,235	14,855	2.4	192,222	110.40	20,014.77	180.684
2018 (H30) 7	82,615	369	17,002	702	1,127	2.5	20,269	111.37	22,553.72	184.270
8	81,860	302	15,751	694	1,213	2.4	18,237	111.06	22,865.15	183.405
9	81,903	404	15,135	621	1,842	2.3	18,437	111.89	24,120.04	184.781
10	83,330	347	15,862	730	1,176	2.4	13,163	112.78	21,920.46	184.792
11	84,213	357	16,437	718	1,213	2.5	8,211	113.37	22,351.06	182.523
12	78,364	320	20,825	622	818	2.4	4,644	112.45	20,014.77	180.684
2019 (H31) 1	67,087	342	16,322	666	1,684	2.5	5,743	108.95	20,773.49	180.567
2	71,966	401	14,345	589	1,955	2.3	25,928	110.36	21,385.16	183.091
3	76,558	533	16,544	662	971	2.5	27,871	111.21	21,205.81	183.632
4	79,389	315	15,354	645	1,069	2.4	16,626	111.66	22,258.73	183.527
(R1) 5	72,581	327	15,631	695	1,075	2.4	16,501	109.83	20,601.19	182.033
6	81,541	367	15,977	734	870	2.3	12,549	108.06	21,275.92	181.001
7	79,232	379	16,242	802	934	2.2	19,999	108.22	21,521.53	179.303
8	76,034	317	15,889	678	871	2.2	21,577	106.27	20,704.37	176.139
9	77,915	459	P 16,717	702	1,130	P 2.4	P 16,129	107.41	21,755.84	176.796
前月比%	2.5	44.7	11.0	3.5	29.6	0.2 ｷﾝﾄ	-	1.1	5.1	0.4
前年同月比%	-4.9	13.6	10.0	13.0	-38.7	0.1 ｷﾝﾄ	-12.5	-4.0	-9.8	-4.3
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日本経済新聞社		

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債総額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		銀行券 受払高 (支払-受入) (億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産 (負債額1,000万円以上)	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2014 (H26)	1,321,895	-6,448	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,308,265	-6,278	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,293,681	-5,906	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2017 (H29)	1,278,581	-5,722	3,073	51,283	30,828	110.3	171,167	71,311	44	8,926
2018 (H30)	1,262,815	-5,820	3,292	51,955	30,877	109.9	158,202	60,779	44	9,426
2018 (H30) 7	1,264,951	-18	258	51,037	30,316	111.2	22,174	5,956	4	305
8	1,264,201	235	242	51,197	30,412	109.4	16,791	5,066	3	269
9	1,263,717	-193	198	51,565	30,906	108.2	20,239	10,662	3	4,788
10	1,262,815	113	381	51,165	30,833	109.6	13,024	4,722	5	1,167
11	1,262,049	-36	294	50,968	30,814	109.5	7,807	2,557	1	13
12	1,261,169	-147	701	51,768	30,892	108.7	5,293	754	2	114
2019 (H31) 1	1,260,124	-111	-110	50,854	30,765	110.5	3,864	1,329	1	51
2	1,258,753	-586	239	51,165	30,820	110.0	2,855	902	3	80
3	1,257,081	-5,772	275	51,955	30,877	107.4	8,063	5,616	4	565
4	1,250,444	856	637	52,084	30,485	110.8	30,114	9,352	1	254
(R1) 5	1,250,387	-68	-74	51,664	30,183	114.9	19,489	3,561	10	721
6	1,249,314	-272	329	52,589	30,221	103.3	19,754	5,459	6	508
7	1,248,340	93	274	51,601	30,230	112.2	22,472	7,915	14	3,319
8	1,247,658	75	284	52,102	30,258	P 106.1	16,775	6,618	5	602
9	1,246,877	261	227	51,840	30,619		21,293	12,045	2	43
10	1,246,291		551						7	238
前月比 %	-0.0	-	-	-0.5	1.2	-5.4	26.9	82.0	250.0	453.5
前年同月比%	-1.3	-	-	0.5	-0.9	-4.9	5.2	13.0	40.0	-79.6
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値、社会動態の年次は前年10月から当年9月まで、月は月中の計数
 ※日銀券の年次計数は年度累計 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高
 ※鉱工業生産指数の年次および前年同月比は原指数による ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

年次及び月	新車登録 台数(台)	乗用車 登録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (㎡)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額(円) (青森市)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与 総額(円)	総実労働 時間(時間)
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575,085	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	585,836	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	650,614	99.5	265,004	252,236	152.5
2017 (H29)	33,776	46,625	6,509	3,703	2,234	651,725	100.5	269,221	262,558	155.5
2018 (H30)	32,856	45,769	6,431	3,813	1,901	655,052	101.9	274,905	258,198	153.9
2018 (H30) 7	3,186	4,249	699	356	233	68,023	101.4	296,007	273,443	157.6
8	2,106	2,931	530	347	164	54,516	101.9	285,168	242,868	152.6
9	2,897	4,128	676	386	240	66,814	102.1	271,568	228,024	153.1
10	2,666	3,684	550	340	153	56,817	102.6	254,477	224,763	158.1
11	2,746	3,634	644	355	216	62,561	102.5	283,832	237,535	157.9
12	2,321	2,974	508	275	171	50,466	102.0	309,005	439,416	152.9
2019 (H31) 1	1,966	2,773	320	161	107	30,057	102.2	289,682	226,406	140.4
2	2,630	3,729	475	169	262	40,133	102.1	268,675	222,455	144.8
3	4,375	5,852	470	252	177	44,579	102.1	374,056	228,090	148.1
4	2,969	4,041	630	478	93	75,535	102.2	277,800	229,855	152.9
(R1) 5	2,378	3,415	514	379	87	97,405	102.4	289,743	240,340	143.6
6	2,879	3,809	596	435	115	65,843	102.5	334,732	333,254	151.7
7	3,624	4,439	592	367	141	61,359	102.4	341,615	282,592	157.3
8	2,329	3,169	548	336	159	135,866	102.7	264,499	238,878	148.6
9	3,374	4,618	631	341	226	64,057	102.7	284,452		
前月比 %	44.9	45.7	15.1	1.5	42.1	-52.9	0.0	7.5	-15.4	-5.5
前年同月比%	16.5	11.9	-6.7	-11.7	-5.8	-4.1	0.6	4.7	-1.5	-2.6
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホーム センター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚げ)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/kg)	産地価格 (円/kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	306	222	99,312	23,436
2017 (H29)	169,344	99,007	26,738	51,086	51,254	262,705	335	214	99,972	19,990
2018 (H30)	168,037	100,902	26,675	54,561	50,377	278,484	310	215	108,192	18,120
2018 (H30) 7	14,164	9,256	2,676	4,804	4,472	8,411	515	-	17,619	2,142
8	15,079	9,448	2,170	4,883	4,559	1,991	546	-	6,250	1,311
9	13,097	8,743	2,154	4,588	3,863	20,512	309	216	16,799	2,899
10	13,308	8,420	1,982	4,606	4,151	24,718	297	253	23,592	2,961
11	13,418	8,167	2,044	4,450	4,266	22,322	282	219	24,003	3,711
12	17,941	8,920	2,902	4,925	5,142	27,152	328	174	13,954	2,336
2019 (H31) 1	13,855	8,181	2,539	4,753	3,265	34,827	298	169	787	334
2	12,409	7,404	1,783	4,366	2,847	35,404	278	163	1,294	700
3	14,461	8,329	2,697	4,463	3,644	34,136	266	151	427	149
4	13,349	8,432	1,877	4,760	4,701	31,397	281	255	709	240
(R1) 5	13,406	8,804	2,027	4,870	5,028	20,317	349	-	988	249
6	13,610	8,565	2,084	4,874	4,127	13,824	394	-	847	241
7	13,593	9,271	2,345	5,029	4,301	10,331	440	-	4,821	2,144
8	15,291	9,836	2,628	5,248	4,642	2,695	456	-	4,208	1,677
9	P 13,828	P 8,715	P 3,429	P 5,424	P 4,537	20,734	289	178	12,528	3,266
前月比 %	-	-11.4	30.5	3.4	-2.3	669.4	-36.6	-	197.7	94.8
前年同月比%	6.6	-0.3	59.2	18.2	17.4	1.1	-6.5	-17.6	-25.4	12.7
資料出所	経済産業省					県りんご果樹課			八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー 調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2016 (H28)	1.13	1.57	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-
2017 (H29)	1.27	1.75	-	9,049	5,701	22,860	123,846	160,929	-	-
2018 (H30)	1.30	1.82	-	8,791	6,945	31,401	115,235	220,012	-	-
2018 (H30) 6	1.29	1.79	5,928	678	759	3,767	12,709	13,247	-	-
7	1.29	1.78	6,302	720	533	2,023	9,001	18,454	47.8	-16.3
8	1.30	1.82	6,479	791	555	1,307	6,144	12,812	-	
9	1.29	1.81	5,393	589	667	4,435	11,353	17,657	-	
10	1.30	1.74	5,417	639	860	2,456	11,830	14,730	44.3	0.0
11	1.32	1.88	5,141	595	175	2,966	12,424	18,916	-	
12	1.31	1.79	5,347	596	726	1,432	4,163	14,943	-	
2019 (H31) 1	1.35	1.99	8,193	1,268	322	3,629	10,106	15,430	46.7	-13.0
2	1.29	1.78	6,143	794	348	3,077	9,135	10,632	-	
3	1.26	1.74	5,269	628	229	1,942	15,503	14,782	-	
4	1.29	1.82	5,505	673	899	6,306	8,097	15,277	47.8	-12.2
(R1) 5	1.23	1.61	5,887	734	386	4,970	9,333	15,976	-	
6	1.21	1.58	5,865	654	588	6,137	14,576	10,604	-	
7	1.20	1.69	6,567	790	823	3,891	8,057	15,715	46.5	-1.3
8	1.20	1.70	6,505	783	321	2,113	9,393	14,502	-	
9	1.22	1.68	5,593	621	362	2,781	9,869	15,442	-	
前月比 %	0.02 ポイント	-0.02 ポイント	-14.0	-20.7	12.8	31.6	5.1	6.5	-1.3 ポイント	10.9 ポイント
前年同月比%	-0.07 ポイント	-0.13 ポイント	3.7	5.4	-45.8	-37.1	-13.1	-12.5	-	-
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課	青森銀行

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設 入込客数 (人)	宿泊者数 (人)	青森空港 乗降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2014 (H26)	9,881,300	1,498,169	903,389	13,559	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,298	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016 (H28)	9,885,612	1,512,154	1,061,995	14,904	378,634	535,657	459,793	-	-	-
2017 (H29)	9,980,972	2,359,381	1,137,982	15,396	377,619	553,031	486,259	-	-	-
2018 (H30)	9,957,574	2,388,906	1,172,886	16,565	381,907	534,367	491,088	-	-	-
2018 (H30) 6	917,628	209,355	99,593	1,179	32,881	45,722	42,694	-18.0	-29.6	-2.5
7	934,215	219,353	101,852	1,488	33,330	45,951	42,928			
8	1,547,248	274,251	125,183	1,842	45,360	62,396	51,349			
9	907,260	226,367	104,980	1,168	34,973	47,950	43,731	3.5	-1.5	-2.5
10	887,527	251,444	110,976	1,482	42,597	55,266	47,083			
11	659,455	188,120	104,042	1,265	26,723	41,188	43,392			
12	647,576	163,276	85,903	1,269	24,390	37,673	40,020	-8.3	-24.6	-8.6
2019 (H31) 1	479,267	155,712	86,981	1,610	24,429	32,159	36,705			
2	457,901	158,650	81,277	1,411	24,259	34,254	35,455			
3	523,721	161,275	102,033	1,493	22,737	36,368	39,240	-10.3	-21.7	-6.1
4	980,094	186,668	95,074	1,231	27,109	47,466	42,180			
(R1) 5	1,110,532	213,882	109,202	1,394	30,048	49,256	45,434			
6	879,417	207,976	101,721	1,505	31,094	43,985	44,148	-4.9	-7.2	7.2
7	883,067	220,166	109,983	1,481	31,650	48,722	44,179			
8	1,387,724	272,418	130,867	1,721	43,404	61,517	52,731			
9	868,060	217,405	115,993	1,327	32,971	49,912	42,424	-	-	-
前月(期)比%	-37.4	-20.2	-11.4	-22.9	-24.0	-18.9	-19.5	5.4ポイント	14.5ポイント	13.3ポイント
前年同月(期)比%	-4.3	-4.0	10.5	13.6	-5.7	4.1	-3.0	-	-	-
資料出所	県観光企画課			空港管理事務所	県民生活文化課	県観光企画課		青森銀行		

※観光施設入込客数は県内35施設合計

※宿泊者数は県内78施設合計(2016年以前は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設)

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2014 (H26)	290,646	178,279	232,860	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015 (H27)	287,648	177,411	231,257	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016 (H28)	284,754	175,900	229,527	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2017 (H29)	282,032	174,287	227,778	8,324	4,119	7,049	1,718	1,075	1,519
2018 (H30)	279,133	172,447	225,463	8,288	3,783	6,695	1,479	1,069	1,441
2018 (H30) 7	279,646	172,807	225,724	894	346	650	134	139	178
8	279,461	172,694	225,647	551	239	446	104	121	96
9	279,387	172,550	225,597	715	368	599	163	105	181
10	279,133	172,447	225,463	626	302	564	140	78	116
11	279,033	172,339	225,407	682	265	613	127	126	114
12	278,897	172,208	225,249	668	260	434	110	67	143
2019 (H31) 1	278,650	172,087	225,140	416	269	418	86	51	85
2	278,299	171,902	224,983	628	372	561	130	40	90
3	277,962	171,643	224,771	1,146	622	813	111	94	101
4	276,180	170,508	223,720	798	300	633	181	90	114
(R1) 5	276,823	170,863	223,822	574	276	480	109	66	131
6	276,567	170,766	223,666	732	363	591	168	75	112
7	276,309	170,706	223,516	1,022	396	791	131	61	152
8	276,158	170,663	223,545	616	317	458	119	86	111
9	275,943	170,560	223,446	799	445	674	196	93	124
10	275,786	170,556	223,338						
前月比%	-0.1	-0.0	-0.0	29.7	40.4	47.2	64.7	8.1	11.7
前年同月比%	-1.2	-1.1	-0.9	11.7	20.9	12.5	20.2	-11.4	-31.5
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値。